



消防団の 一年 泣き・笑い



次の時代への 新たな出発点



美濃加茂市消防団長
尾石 文雄

美濃加茂市消防団が、昭和31年に結成されて以来、記念すべき50周年を迎えましたことは、誠に喜びに堪えないところであります。消防団の使命は、火災や災害などから尊い人命や貴重な財産を守ることにあり、その活動は「地域住民の暮らしを守る」と申し上げても、決して過言ではないと思います。

美濃加茂市は、これまで昭和34年の伊勢湾台風、43年の8・17災害、58年の9・28災害など幾多の大災害と遭遇しましたが、その都度消防団は、住民の救助と災害の

復旧に全力を傾注してきました。今日、われわれ消防団を取り巻く環境は、決して良いとはいえず次第に厳しさも増しており、時代に即応した新しい消防団運営が求められていることも事実です。

複雑化する火災や地震などによる大規模災害への対応、また、近代消防技術の習得をはじめ、消防団活動の基本である団員の確保など課題も多く、それを克服することが次の時代への新たな出発点になると思います。

火災や災害への迅速な対応はもちろんのこと、東海地震などの発生も心配される今日、消防団への期待はますます大きくなっており、今後はそれに応えるべく、常日ごろから訓練と消防精神の一層の涵養が必要と考えます。

輝かしい美濃加茂市消防団の50周年に当たり、半世紀にわたり市消防団の発展に、多大のご尽力を賜りました諸先輩をはじめ、消防関係各位や、格別のご理解、ご協力を賜りました市民の皆さまに心から敬意を表しますとともに、厚くお礼を申し上げます。